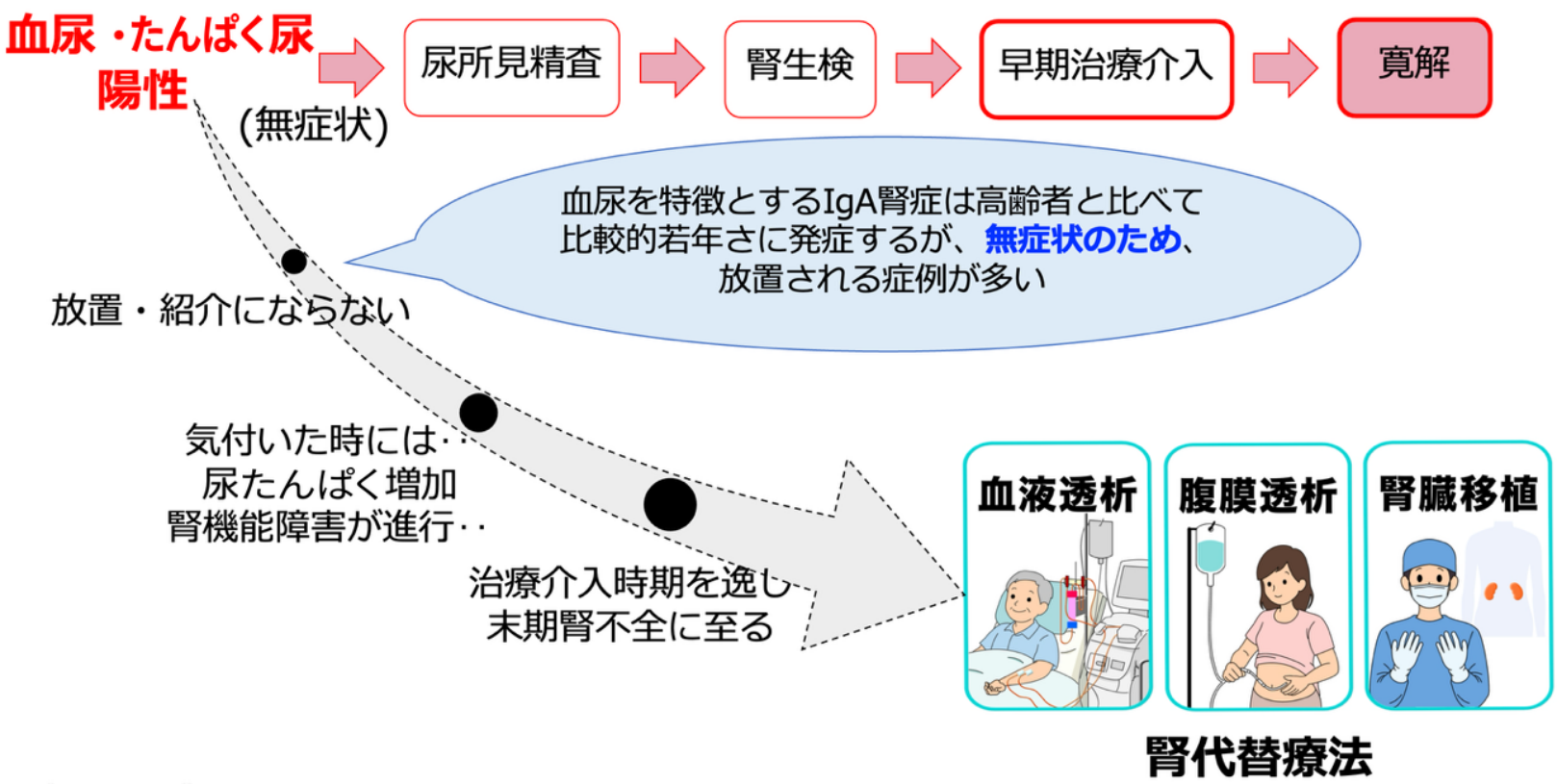
患者さん向け

IgA腎症の診断（腎生検など）



IgA腎症が疑われる場合、まず尿検査や血液検査を行います。尿検査では血尿やたんぱく尿があるかを確認し、血液検査では腎臓の働きを調べます。

IgA腎症を正確に診断するためには、「腎生検（じんせいけん）」という検査が必要になることがあります。腎生検では、超音波で腎臓の位置を確認しながら、専用の針を使って腎臓の組織を数ミリ採取します。採取した組織を顕微鏡で詳しく調べることで、IgA腎症かどうかを確定し、病気の程度も評価できます。

腎生検という名前を聞くと不安に感じる方も多いと思いますが、安全に行えるよう十分な準備と管理のもとで実施しています。

診断がついた後は、尿検査や血液検査を定期的に行いながら、病気の状態を確認し、一人ひとりに合った治療を続けていきます。